

まちカフェ

第5回
1/31
開催!

練馬から発信!

介護が支える復興支援のあり方

～南三陸町への視察のご報告～

平成24年 **1月31日(火)**

18:30～20:30 [開場18:00]

会場: 練馬区役所 20階 交流会場

西武池袋線・大江戸線「練馬駅」下車徒歩5分(豊玉北6-12-1)

《ゲスト》

青木伸吾さん

(有)アオキトゥワン代表取締役、(特活)ふくし住まい支援の会理事長

安井英人さん

(有)アオキトゥワン、(特活)ワールドキャンパス理事

田中郁子さん

元・南三陸町社会福祉協議会デイサービスセンターしづがわ看護師
(ケアマネジャー兼生活指導員)



定員: 先着50名

申込: 練馬まちづくりセンター宛に、①講座名 ②お名前(ふりがな) ③電話番号をお知らせください。
練馬まちづくりセンター(定員になり次第申込締め切ります)

TEL:03-3993-5451 / FAX:03-3993-8070 / kouza-entry@nerimachi.jp

主催: (財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター

共催: 特定非営利活動法人 ふくし住まい支援の会

お
話
の
内
容

一 南三陸町への
視察の報告

練馬区内の介護事業関係者からなる有志の視察グループを交えて、現地を見たこと、感じたことをお伝えします。

二 被災者支援の
参考事例

今回の支援の目的である、被災者が被災者を雇用する地域密着型の介護事業の立上げについて、現地を中心にならなければならないケアマネジャー(看護師)をお呼びして、現地の今の状況と合わせて、今後必要な支援の方向性について伺います。

三 練馬で改めて
考える災害と介護

南三陸町での活動を参考にしながら、一人ひとりが考えるべき、災害への備えやコミュニケーションのあり方について、ご出席くださった会場の皆さんと意見を交換します。

●●まちづくりカフェって?●●

カフェでは、毎回まちづくりに関するテーマを決め、話題提供者の話聞いて、参加者も一緒にわいわいとまちづくりについて語り合います。語りた方、じっくり議論を聴きたい方、参加の仕方は自由です。

2011年3月11日の震災発生以来、数多くの人々がそれぞれのできることで被災された皆さんへの支援活動を行ってきました。赤十字などへの募金、物資提供や分類・配送作業、がれき撤去・清掃や炊き出しなどの現地活動、東北製品の購入などによる経済的貢献など。

そんな中で、宮城県南三陸町への支援を行っていた在京の人々の横の連携ができて、ある練馬区の介護事業関係者とつながりました。現地を往き来するうちに、地元の介護現場や行政機関の方たちと知り合うことができ、介護事業の再生を目指す取組みが緒につきました。あくまで地元主体で、地域資源を活用しながら、実現すれば雇用も生み出すような取組みを、個人的に集まった区内の介護事業関係者を中心に共感する区民のネットワークを創って、今後もサポートしていきたいと考えています。

被災者支援をきっかけに、今後の介護やコミュニティのあり方も考えてみませんか？

- ★ ざっくばらんな情報共有、意見交換の場です。お気軽にご参加ください。
- ★ 引き続き、現地への視察や支援活動を行なっていきます。
ご関心ある方はこの機会を是非お逃しなく！

ゲストのみなさんのプロフィール

青木伸吾

住宅ハウスメーカーを経て、家業を5代目として継承。支援を必要とされる方の住宅環境調整も新規事業にし、介護保険小規模多機能型居宅介護サービス事業所の開設と合わせNPO法人ふくし住まい支援の会を主宰。5月より南三陸町支援プログラムを立案、着手した。

安井英人

政府開発援助及び行政計画コンサルタントを経て、異文化理解と地域活性化の両立を目指すNPO法人の理事兼ジェネラルマネジャー。地域コミュニティのファシリテーションや法人の総務・財務などを担当。個人的に4月から南三陸町を7度往復。

田中郁子

南三陸町在住。町内で看護師としてご勤務された後、ご結婚され、子育て後、デイサービスセンターしづがわの看護師（ケアマネ兼生活指導員）として従事。震災による事業休止を経て、現在は介護予防訪問相談員。



南三陸町視察の集合写真